

■高山彦九郎記念館データファイル No.12

昭和20年(1945)以降に発行された高山彦九郎を扱った刊行物の一覧表です。

発行年月日順に記載していますが、新たな文献を途中に加える場合、“No.”は振り直しています。

◆高山彦九郎参考文献

No.	書名	論文名・(備考)	著者	発行者	発行日
1	高山彦九郎全集 第2巻		千々和 實・ 萩原進編	高山彦九郎遺稿刊行会	昭和27(1952).12.25
2	高山彦九郎全集 第3巻		千々和 實・ 萩原進編	高山彦九郎遺稿刊行会	昭和28(1953).7.6
3	高山彦九郎全集 第4巻		千々和 實・ 萩原進編	高山彦九郎遺稿刊行会	昭和29(1954).6.6
4	史海2	寛政期学者グループの政治活動 —頼山陽史学の動機と高山正之 自殺の背景—	千々和 實	東京学芸大学史学会	昭和30(1955)
5	上毛裏かえ史	高山彦九郎は馬庭念流	萩原 進	田村初寿	昭和31(1956).9.5
6	群馬文化 第13号	高山彦九郎に関する二三の問題	樋口良夫	群馬文化の会	昭和33(1958).1.1
7	上野国諸歌集	新田郡 高山彦九郎記念館先生 和歌	富岡松山 (富岡丑松)	ヒコナル社	昭和33(1958).3.15
8	高山彦九郎の竹田 来訪		北村清士	大分県竹田市立図書館	昭和35(1960).1.5
9	蟻塚 第9集	郷土物語 高山彦九郎と四方竹	千々和英一	福岡県水巻町公民館	昭和35(1960).7.7
10	先人の面影	高山彦九郎先生伝	久留米市教育委員会	福岡県久留米市教育委員会	昭和36(1961).8.

11	水巻町誌	近世の水巻／高山彦九郎の通った道	水巻町郷土誌編集委員会	福岡県水巻町教育委員会	昭和37(1962).12.25
12	草莽の系譜 —明治維新への底流	第一章草莽意識の成立 二北関東と草莽の志士 2高山彦九郎と草莽意識	大町雅美	三一書房	昭和40(1970).7.31
13	矢嶋行康と高山彦九郎		矢嶋憲三郎	矢嶋憲三郎	昭和43(1968).9.30
14	長久保赤水	赤水と高山彦九郎 (本書は昭和47年<1977>7月10日発行の復刻版あり)	茨城県郷土文化研究会	茨城県郷土文化研究会	昭和45(1970).3.31
15	草莽論 —その精神的自己検証	第二章 預言者の出現 1蒲生君平と高山彦九郎	村上一郎	大和書房	昭和47(1972).5.15
16	森銑三著作集 別巻	(別巻索引によると、同著作集第1巻～12巻中に、高山彦九郎が35箇所現れる)	森 銑三	中央公論社	昭和47(1972).8.25
17	長野郷土史研究会機関誌 長野 第47号	高山彦九郎と矢嶋行康	矢嶋憲三郎	長野郷土史研究会	昭和48(1973).1
18	鷗外 14号	高山正之と森鷗外	野田宇太郎	森鷗外記念会(文京区立鷗外記念本郷図書館内)	昭和49(1974).3.15
19	大素人(だいそじん) 1979・春・第5号	「高山彦九郎日記」に見る正秀・正幸・元平	布施幸一	青賞社	昭和49(1974).4.10
20	冬の鷹	(昭和51.11.30発行の新潮文庫あり)	吉村 昭	毎日新聞社	昭和49(1974).7.10
21	高山彦九郎京都日記 日本の旅人7		野間光辰	淡交社	昭和49(1974).10.9
22	郷土戸畑1974No.17	高山彦九郎と森嘉善の系譜	小島忠一	戸畑郷土研究会	昭和49(1974).12.15

23	鶴舞 第29号	「北行日記」と由利	仲川成章	秋田県本荘市文化財保護協会	昭和49(1974).12.20
24	叛骨の土道	高山彦九郎	奈良本辰也	中央公論社	昭和50(1975).8.10
25	寛政三奇人伝 林子平 高山彦九郎 蒲生君平	第二章高山彦九郎	安藤英男	大和書房	昭和51(1976).3.5
26	飢餓日本史 歴史選書 28	“飢餓秘録”にみる非情な人間性 4飢餓日記が教えるもの 高山彦九郎の残酷無残な東北旅日記	中村陽一郎	雄山閣	昭和51(1976).6.25
27	郷土のしおり 東上州	10寛政の奇人 高山彦九郎	清水要次	郷土史刊行会	昭和52(1977).8.1
28	地政学者 長久保赤水伝	27憂国の士、高山彦九郎との交友	長久保片雲	暁印書館	昭和53(1978).9.15
29	高山彦九郎日記 (全5巻)	(「高山彦九郎全集」に第5巻を加え、復刻したもの)	千々和實・萩原進編	西北出版	昭和53(1978).10.23
30	長久保赤水 一日本地理学の先駆—(上下巻)	現在、筑波書林から発行	住井すえ	崙書房	昭和53(1978).12.15
31	桜任蔵 —維新に散った草莽の奇士—	1水戸の風雲児／安政の高山彦九郎・彦九郎を慕って	鈴木常光	筑波書林	昭和54(1979).1.15
32	長島尉信 —近世農政学の祖—	6高山彦九郎遺品のこと	鈴木常光	筑波書林	昭和54(1979).5.15
33	神道学 第104号	頼山陽史学の動機と高山彦九郎の自	千々和實	神道學會	昭和55(1980).2.1
34	草莽の維新史	第1章草莽の前史 第1節徳川中	寺尾五郎	徳間書店	昭和55(1980).2.10

		期の草莽／第2節草莽の先駆たち 4高山彦九郎と六士憤死			
35	日本人の歴史 第7巻 旅と日本人	第5章日本人の旅行記 ③調査と探索の旅の記録 同志説得の旅・価値ある赤裸々な記録	樋口清之	講談社	昭和55(1980).4.28
36	別冊歴史読本 80秋 第16号 につぽ奇人変人列伝 伝記シリーズ16 時流に関係なくわが道を歩いた奇人たちの生涯	特集史論 早く生まれ過ぎた故に奇人であらざるを得なかった男たちの生き様／寛政の三奇人 時代を先どりした男たち 林子平・高山彦九郎・蒲生君平	野口武彦	新人物往来社	昭和55(1980).7.20
37	歴史の影絵	反権論者高山彦九郎	吉村 昭	中央公論社	昭和56(1981).2.20
38	天明三年浅間山噴火史	10救済に尽力した先人 (4)高山彦九郎と浅間山変災	萩原 進	鎌原観音堂奉仕会	昭和57(1982).7.30
39	歴史と人物 昭和58年9月号	紀行を旅する9 高山彦九郎『北行日記』の興味 昭和62年4月発行の単行本及び昭和62年12月発行の文庫版『紀行を旅する』あり	加藤秀俊	中央公論社	昭和58(1983).9.1
40	道中記の旅	第3章勤王志士の足どり—高山彦九郎と道中記—／あとがき	原田伴彦	芸艸堂	昭和58(1983).10.25
41	野田の詩どころ歌どころ	歌碑 一つ橋の歌碑	田村栄一郎	岩手県野田村	昭和58(1983).10
42	南部藩琥珀物語	高山彦九郎と琥珀／北行日記	田村栄一郎	南部藩琥珀物語刊行委員会	昭和58(1983).11
43	紀行を旅する	盛岡から仙台へ—高山彦九郎「北行日記」 (出典は『歴史と人物』昭和58年9月号所収の「紀行を旅する9 高山彦九郎『北	加藤秀俊	中央公論新社	昭和59(1984).4.25

		行日記』の興味」／昭和62年12月発行の文庫版あり)			
44	司馬遼太郎全集4 8 街道をゆく2	陸奥の道「高山彦九郎の旅」	司馬遼太郎	文藝春秋	昭和59(1984).7.25
45	文書館だより 第4号	「高山彦九郎日記」を読む —事実の記録としての日記—	岸 栄	群馬県立文書館	昭和60(1985).1
46	夷酋列像—成立と その周辺	4上洛 京で筆さばき披露 —彦 九郎との出会いも(4.25) 5上覧(上) 佐々木良斎に尽力 要請 —法親王の閲覧経て皇居 へ(5.2) (「北海道新聞夕刊」連載)	谷澤尚一	北海道新聞社	昭和60(1985).4.4～1 0.3
47	風雲児たち 第9巻 彦九郎が行く 希 望コミックス131	(この巻以外に、第4・7・10～16・18・2 0～22巻にも彦九郎が登場する) (このシリーズはリイド社から「SPコミッ ク スワイド版として再刊されている」)	みなもと太 郎	潮出版社	昭和60(1985).5.1
48	上州奇人伝	泣き癖のある勤王家高山彦九郎	浅田晃彦	あかぎ出版	昭和60(1985).11.20
49	回天の道 第12 号・第13号	草莽の臣高山彦九郎 上・下	木村幸比古	明治維新研究センター	昭和60(1985)1.1／昭 和61(1986).1.1
50	彦九郎と房総	(「千葉日報」連載)	杉谷徳蔵	千葉日報	昭和61(1986).2.22～ 昭和62(1987).3.12
51	歴史のなかの紀行 北日本・海外	北日本 3旅する勤王の思想家 高山彦九郎『北行日記』	中田嘉種	そしえて	昭和61(1986).7.20
52	群女国文 第14号	「北行日記」の社会経済史的考察 —天明飢饉の解明をめざして—	五十嵐富夫	群馬女子短期大学	昭和62(1987).3.14
53	江戸人の歴史意識 朝日選書333	寛政の三奇人—林子平・高山彦 九郎・蒲生君平	野口武彦	朝日新聞社	昭和62(1987).7.20
54	隔月刊 群馬風土 記 昭和63年3月 号(通巻3号)～平	高山彦九郎—その再評価を求め て (この連載は「高山彦九郎読本」にまとめ られている)	萩原 進	群馬出版センター	昭和63(1988).3.1～ 平成元(1989).4.1

	成元年3・4月号 (通巻9号)				
55	琥珀誌	高山彦九郎と琥珀	田村栄一郎	資料出版くんのこ会	昭和63(1988).7.25
56	道新選書9 松前絵師 蠣崎波響伝	第3章「寛政の蝦夷乱」と「夷酋列像」の製作 3上洛上覧と京都文人との交流	永田富智	北海道新聞社	昭和63(1988).8.3
57	隔月刊 群馬風土記 平成元年3・4月号(通巻9号)	「毛武游遊記」「小股行」にみる桐生道・丸山宿	青木益夫	群馬出版センター	平成元(1989).3.1
58	蠣崎波響の生涯	第5章上洛1その経緯／第6章京洛の交遊8志士高山彦九郎・10彦九郎「京都日記」補説／蠣崎波響年譜(井上研一郎編)	中村真一郎	新潮社	平成元(1989).10.25
59	日本歴史『古記録』総覧 近世編	「高山彦九郎日記」	本郷隆盛	新人物往来社	平成2(1990).12.20
60	太田市立商業高等学校研究紀要 第16号	高山彦九郎の旅行記小考	正田喜久	太田市立商業高等学校	平成3(1991).3.20
61	茨城県立歴史館報 第18号	郁子園翁長島尉信と「高山彦九郎日記」について	仲田昭一	茨城県立歴史館	平成3(1991).3.20
62	講座・日本技術の社会史8『交通・運輸』	江戸後期の手紙と社会 第3章 江戸後期の手紙と社会 一どのように手紙が届けられたか (この文献は『幕末維新期の文化と情報』〈宮地正人著・名著刊行会・平成6(1994).3.4 発行〉に再録)	宮地正人	日本評論社	平成3(1991).3.30
63	史話日本の歴史2 2 西洋への窓 蘭学と国学	「寛政の三奇人 林子平・高山彦九郎・蒲生君平」史話	野口武彦	作品社	平成3(1991).4.15

64	水戸史學 第34号	高山彦九郎と常陸の人々	仲田昭一	水戸史学会	平成3(1991).5.31
65	九州の儒者たち 儒学の系譜を訪ねて	久留米・福岡／高山仲繩と九州・ 無聞の烈士・森嘉膳が事	西村天囚・ 菰口治校注	海鳥社	平成3(1991).6.20
66	他藩士の見た水戸	高山彦九郎北行日記(寛政3年)	久野勝弥編	水戸史学会(錦正社)	平成3(1991).7.14
67	太田市史 通史編 近世	第5章第4節 人物と思想 1高山 彦九郎	正田喜久	太田市	平成4(1992).3.31
68	高山彦九郎先生二 百回忌記念「高山 彦九郎とその時代」 展示目録	(平成4年6月20日～7月6日に福岡県 久留米市の有馬記念館で、(財)高山彦 九郎先生史蹟顕彰会主催の高山彦九郎 先生200回忌記念事業の一環として開 催された展覧会目録)	(財)有馬記 念館保存会 (財)高山彦 九郎先生史 蹟顕彰会	(財)有馬記念館保存会 (財)高山彦九郎先生史蹟 顕彰会	平成4(1992).6
69	太田高校金山同窓会 報第7号 金山	高山彦九郎没後二百年を迎えて 郷土の英雄高山彦九郎公を偲ん で	正田喜久 久保田喜平	金山同窓会 (群馬県立太田高等学校内)	平成4(1992).12.1
70	皇室の至宝12 『御物』書跡3	「忍山湯旅の記」「江戸旅行日記」 「斎中記」「江戸旅中日記」「歌巻 物(金井烏洲画・墓前和歌・贈 歌)」「和歌」	宮地正人ほ か	毎日新聞社	平成5(1993).1.30
71	どぐら綺譚	1 どぐら綺譚 —高山彦九郎から 夢野久作に繋ぐ幻—	松本健一	作品社	平成5(1993).2.10
72	福岡女学院大学紀 要第3号	十八世紀後半における旅と情報 ネットワーク —橘春暉・亀井南 冥・高山彦九郎の交流をめぐって— 『旅と交遊の江戸思想』に収録	八木清治	福岡女学院大学	平成5(1993).2.28
73	季刊 群馬風土記 平成5年5・6月号 (通巻34号)	歴史余話三条実美と楫取県令	東宮敏男	群馬出版センター	平成5(1993).6.1

74	没後200年混迷の世によみがえる 高山彦九郎の実像—維新を呼んだ旅の思想家		木部克己編	あさを社	平成5(1993).6.3
75	高山彦九郎二百年祭		小牟田棋山	小牟田やす子	平成5(1993).6.27
76	まんが太田の歴史	尊王の志士高山彦九郎	太田市企画部広報広聴課編	太田市	平成5(1993).7.30
77	群馬歴史散歩 第121号	教王寺の高山彦九郎ゆかりの鐘	石川良一	群馬歴史散歩の会	平成5(1993).11.15
78	王政復古の先駆者 高山彦九郎読本		萩原 進	群馬出版センター	平成5(1993).9.20
79	久慈市史 第2巻 通史 近世	第6章久慈地方の経済活動 第5節その他の産業 1 琥珀の産出		岩手県久慈市史刊行会	平成5(1993).11.1
80	太田高校金山同窓会報第8号 金山	出色の思想家高山彦九郎	菅間健司	金山同窓会 (群馬県立太田高等学校内)	平成5(1993).12.1
81	精選復刻紀伊国屋新書 明治維新の源流	寛政の三奇人 (元版は昭和56年7月発行)	安藤英男	紀伊国屋書店	平成6(1994).1.25
82	山形市郷土館だより No.55	高山彦九郎と山形	布施幸一	山形市郷土館	平成6(1994).3.1
83	幕末維新期の文化と情報	第3章江戸後期の手紙と社会—どのように手紙が届けられたか 飛脚制度とそのひろがり／飛脚以外の定期的な通信方法／幸便／二どのくらいで手紙は届いたか 正常な配達日数／三3手紙の社会史 情報と飛脚屋／宛先をどう	宮地正人	名著刊行会	平成6(1994).3.4

		認めるか／宛先不明の場合はどうするか—手紙と問屋／あとがき (『講座・日本技術の社会史8「交通・運輸」』所収論文の再録)			
84	彦九郎山河	(「東京新聞」ほかに連載・単行本及び文庫本あり)	吉村 昭	東京新聞ほか	平成6(1994).3.23～12.31
85	高山彦九郎先生没後200年記念事業報告 人間高山彦九郎 —その再評価を求めて	シンポジウム講演記録 ▽基調講演「前野良沢と高山彦九郎」(吉村昭) ▽パネルディスカッション「人間高山彦九郎 —その再評価を求めて」(パネリスト:萩原進・本郷隆盛・仲田昭一／コーディネーター:正田喜久)	高山彦九郎先生没後200年記念事業実行委員会事務局(太田市教育委員会社会教育課)	高山彦九郎先生没後200年記念事業実行委員会	平成6(1994).3.30
86	出水の旅物語	5高山彦九郎「筑紫日記」	出水市教育委員会社会教育課編	鹿児島県出水市教育委員会	平成6(1994).3
87	越中紀行文集 越中資料集成10	乙未の春旅 高山彦九郎 安政4年(1775)	橋本龍成編	桂書房	平成6(1994).4.10
88	桐生史苑 第33号	桐生の出会った人たち(1)「高山彦九郎」	堀越靖久	桐生史談会	平成6(1994).4.25
89	別冊歴史読本特別増刊 第19巻第18号 江戸時代おもしろ人物百科	時代を先どりした男たち 寛政の三奇人 林子平 高山彦九郎 蒲生君平	野口武彦	新人物往来社	平成6(1994).6.10
90	歴史の道・再発見 第1巻 平泉からロシア正教まで	—蝦夷の道をあぐる—第6章東北の民衆3 人肉を食う	菊地勇夫	フォーラム・A	平成6(1994).12
91	房総路 第32号	高山彦九郎笠森参詣	小幡重康	押尾宗平	平成6(1994).12.25

92	展示図録 特別展 幕末農政学者長島 尉信とその時代	長島尉信と高山彦九郎	仲田昭一	茨城県立歴史館	平成7(1995).2.11
93	まんが宮城の歴史	近世 高山彦九郎の赤城神社詣	宮城村教育 委員会編	宮城村生涯学習を推進す る会社会教育部会	平成7(1995).3
94	本の話 平成7年9 月号	『彦九郎山河』を書いて	吉村 昭	文藝春秋	平成7(1995).9.1
95	播州龍野藩儒家日 記 『幽蘭堂年譜』上 巻・下巻 清文堂史料叢書第 72刊・第73刊	(龍野藩儒であった股野玉川の日記。残された日記のうち宝暦10年(1760)10月から文化3年(1806)6月までの記事を掲載。彦九郎の日記の記述を裏付けるだけでなく、欠落を補う部分もあり重要な資料である)	竹下喜久男 編	清文堂出版	平成7(1995).6.15
96	切腹の歴史	江戸時代の切腹例 4仲縄留魂 記	大隈三好	雄山閣出版	平成7(1995).9.20
97	細井平洲『小語』注 釈	11佐柄木時貞子幹・西沢周子 豊・高山正之仲縄／31谷平・宇 兵 上毛の民／63高山正之 上 毛の士	小野重仔	愛知県東海市教育委員会	平成7(1995).9.30
98	群馬県医師会報 平成7年10月 第 567号	高山彦九郎と前野良沢とわが祖	岸 昌男	群馬県医師会	平成7(1995).10
99	彦九郎山河	(「東京新聞」ほか連載の単行本・他に文 春文庫版あり)	吉村 昭	文藝春秋	平成7(1995).9.30
100	歴史街道 平成7年11月号	心を育て、人を作る教え 細井平洲とその盟友たち 高山彦九郎／心のやさしさを求め てさまよう詩人	上之郷利昭	PHP研究所	平成7(1995).11.1
101	爪跡一路	後編 師範学校入学以降 郷土 史研究の推移 (2)高山彦九郎全 集	萩原 進	萩原 進 (むそじ刊行会)	平成7(1995).12.10

		(萩原進氏の自伝。『高山彦九郎全集(高山彦九郎日記)』刊行の経緯が示されている)			
102	森銚三著作集 続編 別巻	(別巻索引によると、同著作集続編第2巻～15巻及び別巻中に、高山彦九郎(正之)が29箇所現れる)	森 銚三	中央公論社	平成7(1995).12.20
103	松前街道探訪 外ヶ浜道中記	第三章外ヶ浜紀行 —旅人が見た人情風物「高山彦九郎『北行日記』」	建設省東北地方建設局 青森工事事務所編	建設省東北地方建設局青森工事事務所	平成8(1996).3
104	医は不仁の術 務めて仁をなさんと欲す 続・豊前中津医学史散歩	前野良沢と築次正	川嶋真人	西日本臨床医学研究所	平成8(1996).3.5
105	時代の旅人 太田市高山彦九郎記念館 常設展示案内		高山彦九郎記念館編	高山彦九郎記念館(太田市教育委員会)	平成8(1996).3.29
106	江戸情報文化史研究	第1章—宝暦・天明文化論 第3節宝・天期の江戸文人社会 3武家サロンと江戸学—世間師処士高山彦九郎を中心として／第5節天明飢饉史料にかかわる史料解釈上の諸問題—飢饉体験の継承とかかわらせて— 1封建的荒廃と天明飢饉	芳賀 登	皓星社	平成8(1996).5.15
107	広報そでがうら 4 11号	袖ヶ浦あれこれ61 高山彦九郎の飽富神社詣で	多田憲美	千葉県袖ヶ浦市役所	平成8(1996).8.1
108	前野蘭化 2解体新書の研究(全3巻) 東洋文庫604	第10章解体新書翻訳以後に於る前野蘭化2 7高山彦九郎と前野蘭化	岩崎克己	平凡社	平成8(1996).9.9
109	太田高校金山同窓会	高山彦九郎記念館オープン	中里吉伸	金山同窓会	平成8(1996).12.2

	報 第11号 金山	彦九郎の旅と生涯の軌跡 多彩な資料を通して追体験		(群馬県立太田高等学校内)	
110	流れる五戸川 続 7	第2章消え行く先祖の足跡 (8) 高山彦九郎旅日記	三浦榮一	三浦榮一	平成8(1996).12.25
111	戦後教科書から消 された人々	3現代人が忘れた忠孝を教えてく れる六人「高山彦九郎」	濤川栄太	ごま書房	平成8(1996).12.30
112	機関誌『敬天愛人』 第14号	西郷南洲と高山彦九郎	篠原 亮	財団法人西郷南洲顕彰会	平成8(1996).9.24
113	日本精神史への旅	私の九州地図	松本健一	河出書房新社	平成9(1997).3.25
114	群馬県立太田高等 学校研究紀要 第 17号	高山彦九郎の日記に見る東北の 天明飢饉	正田喜久	群馬県立太田高等学校	平成8年度
115	日本経済新聞文化 覧	白虹を貫けり	松本健一	日本経済新聞	平成9(1997).4.27
116	水戸先哲の不朽の 名文2 平成八年度第 十三回水戸学講座記 録	藤田幽谷「高山處士を祭るの文」	仲田昭一	常磐神社	平成9(1997).5.12
117	高山彦九郎研究会 報 第1号	高山彦九郎研究がめざすもの(正 田喜久)／高山彦九郎を訪ねた 高杉晋作(中里吉伸)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成9(1997).6.20
118	江戸時代『人づくり 風土記』10 ふるさ との人と知恵 群 馬	第5章 地域おこしに尽くした先駆 者 4王政復古の先駆者、高山彦 九郎	正田喜久	社団法人農山漁村文化協 会	平成9(1997).6.30
119	龍馬の時代 一京を 駆けた志士群像	第2章維新の先駆者たち 寛政の 三奇人—林子平・君平・彦九郎	木村幸比古	高知新聞社	平成9(1997).7.1
120	季刊 群馬風土記 平成9年夏季～平 成12年夏季号(通	高山彦九郎「子安神社道の記」を 歩く 平成探訪記1回～12回	星野正明	群馬出版センター	平成9(1997).7.15～ 平成12(2000).7.15

	巻50～62号／ただし、平成12年春季号・通巻61号を除く)				
121	年報 都市史研究 5 商人と町	寛政改革期の孝子褒賞関係史料—京都・赤尾屋清七の例 3赤尾屋清七報償の反響 高山彦九郎の清七訪問	林 清造	山川出版社	平成9(1997).10.25
122	志士たちの書画 三の丸尚蔵館展覧会 図録 No.18	高山彦九郎喪中歌草稿／金井烏洲画高山彦九郎 (平成10(1998)年1月10日から3月8日まで、東京都千代田区の宮内庁三の丸尚蔵館で開催された展覧会「志士たちの書画」の解説図録)	宮内庁三の丸尚蔵館 平林盛得編	財団法人菊葉文化協会	平成10(1998).1.10
123	高山彦九郎研究会 会報 第2号	高山彦九郎の墓石を実写した久坂玄瑞(中里吉伸)／—常設展示史料から—『高山彦九郎宛前野良沢書簡 寛政3年2月7日付』より(青山良平)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成10(1998).3.20
124	日本学研究 創刊号	寛政の三奇人の呼称と相互の交流の実態	阿部邦男	金沢工業大学日本学研究所	平成10(1998).6
125	東北の街道 道の文化史いまむかし	3街道の旅へのいざない 古典文学と文人の旅 紀行と文学の東北 高山彦九郎『北行日記』	無明舎出版	(社)東北建設協会	平成10(1998).7.15
126	今昔京都ふしぎ紀行	第2章京日記—高山彦九郎	高野 澄	京都新聞社	平成10(1998).7.25
127	文春文庫 彦九郎山河	(初出は「東京新聞」ほか連載・単行本の文庫化されたもの／解説 山内昌之)	吉村 昭	文藝春秋	平成10(1998).9.10
128	卓上の虹 —宮崎の知ったかぶり—	3の扉宮崎県政点描 古い宮崎と高山彦九郎	平嶋周次郎	鉦脈社	平成10(1998).9.10

129	季刊 群馬風土記 平成10年秋季号 (通巻55号)	高山彦九郎に心酔した尊攘派の 志士久坂玄瑞	中里吉伸	群馬出版センター	平成10(1998).10.15
130	高山彦九郎研究会 会報 第3号	徳富家と高山彦九郎(正田喜久) ／高山彦九郎自刃の地と筑紫日 記訪問の旅に参加して(青山良 平)／高山(蓮沼)えんの墓は語る —高山姓はどのように受け継が れたのか—(中里吉伸)／久留米 市寺町遍照院にて(平尾明)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成10(1998).12.25
131	高山彦九郎記念館 だより 第1号	館所蔵新発見の「高山彦九郎書 簡」(資料紹介)／企画展示「寛政 の三奇人(士)」の系譜展を終わっ て	生涯学習課 高山彦九郎 記念館編集	太田市教育委員会	平成11(1999).3.31
132	累代の人々 盲聾教 育の祖 古河太四郎亮 泰の系譜	第2章高山彦九郎	古川統一	鳥影社	平成11(1999).5.22
133	新山形風土記第3号 出羽三山文学紀行 集成	北行日記 高山彦九郎	笹沢信編集	一粒社	平成11(1999).6.15
134	群馬歴史散歩 第1 57号 特集:太田市	高山神社と高山彦九郎記念館	正田喜久	群馬歴史散歩の会	平成11(1999).11.10
135	高山彦九郎研究会 会報 第4号	高山彦九郎研究会特別講演会「今、新 たに旅をはじめる高山彦九郎」 (松本健一) この講演記録は会報5号別冊に全編を 再収録 ／高山彦九郎と吉田松陰—彦九 郎の諡を号とした吉田松陰—(中 里吉伸)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成11(1999).12.25
136	明治大学人文科学 研究所紀要 第47 冊	蘆田文庫編纂委員会 2小論集 長久保赤水の世界図板行の経緯	平野 満	明治大学人文科学研究所	平成12(2000).3.17

		—赤水書簡(太刀川左四郎宛)と本屋仲間記録を手掛かりに—			
137	木村蒹葭堂のサロン	第2部 第2章交遊の拡大 13高山彦九郎来訪・14高山彦九郎京日記・15世肅と彦九郎の階級的対立／第4章蒹葭堂全盛 1 蠣崎波響来訪／ 第3部 第3章学芸界の人々 12高山彦九郎自刃	中村真一郎	新潮社	平成12(2000).3.30
138	藝林 第49号第2号 平成12年5月	高山仲繩(彦九郎)米良探訪の歴史的意義 —主として「筑紫日記」の検討—	小川常人	藝林會	平成12(2000).5.1
139	京都・幕末維新をゆく 新撰 京都の魅力	藩幕思想の流れ／志士からもてはやされた高山彦九郎	木村幸比古・三村博史	淡交社	平成12(2000).5.23
140	新田太田史帖 みやま文庫161	10王政復古の先駆者高山彦九郎	正田喜久	みやま文庫(群馬県立図書館内)	平成12(2000).9.29
141	芭蕉はどんな旅をしたのか 「奥の細道」の経済・関所・景観	(高山彦九郎の「乙未の春旅」と「北行日記」から40箇所以上の引用が行なわれている)	金森敦子	晶文社	平成12(2000).10.20
142	明治維新の源流—その人と作品	寛政の三奇士	安岡正篤	郷学研修所・安岡正篤記念館／邑心文庫／明德出版社	平成12(2000).11.3
143	季刊 群馬風土記 平成13年冬季号(通巻64号)・春季号(通巻65号)	彦九郎の諡と松陰 高山彦九郎と吉田松陰	中里吉伸	群馬出版センター	平成13(2001).1.15／4.15
144	東北見聞録2 歩く・会う・語る・住む	琥珀のまちの国際交流 岩手県久慈市	黒田四郎	八朔社	平成13(2001).1.20
145	街道の日本史53 高	3日向・大隅の文化と人づくり 1	安藤 保・大	吉川弘文館	平成13(2001).2.10

	千穂街道と日向街道	文化の交流 1 高山彦九郎の日向巡遊	賀郁夫編／佐藤省吾ほか著		
146	勤王の先駆者 横尾紫洋	11最後の上京と京での交友—高芙蓉・高山彦九郎ら 3高山彦九郎との関係	副島廣之	善本社	平成13(2001).2.11
147	くんのこほっば愛好会昔語り —琥珀産業を支えた先人の知られざる知恵に学ぶ— 琥珀の里・久慈「くんのこ山にまつわる人・技」記録集	パネルディスカッション「先人が歩んだ琥珀の道・交流と連携」	くんのこほっば愛好会	くんのこほっば愛好会(久慈琥珀博物館内)	平成13(2001).3
148	高山彦九郎研究会第5号	「蓮沼正穩萬日記」に見る祖母りんの死と彦九郎の服喪(諏訪和雄)／田崎早雲の描く「高山正之君像」を鑑賞する(菊池卓)／忠魂髣髴還家山(青山良平)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成13(2001).3.31
149	高山彦九郎研究会会報 第5号別冊 平成11年度高山彦九郎研究会総会特別講演会講演記録	今、新たに旅をはじめた高山彦九郎	松本健一	高山彦九郎研究会	平成13(2001).3.31
150	東国史論 第16号	高山彦九郎と仙台通宝 —「北行日記」を読む—	星野富夫	群馬考古学研究会	平成13(2001).5.20
151	上州と良寛 —その足跡と人間像— みやま文庫163	良寛とゆかりの深い上州 2遺跡・遺品・遺墨の世界 1関係遺跡 (8)勤王の志士 良寛の父以南と活躍した太田の高山彦九郎	市川忠夫	みやま文庫(群馬県立図書館内)	平成13(2001).7.2
152	季刊 群馬風土記 平成13年夏季号(通巻66号)／秋季号(通巻67号)	高山彦九郎を慕う志士たち(上)・(下) 幕末に活躍する尊王論者への影響	中里吉伸	群馬出版センター	平成13(2001).7.15／10.15

153	もののふ 武士の道	叛骨の武士道 太平の武士たち 高山彦九郎 (本書は『武士道の系譜』(昭和46年・中央公論社)と『叛骨の士道』(昭和50年・中央公論社)を合わせたもの)	奈良本辰也	アートデイズ	平成14(2002).2.20
154	日本歴史伝説傑作選 Gakken Mook Memories シリーズ	高山彦九郎の勤皇 有徳の士を 求めて諸国を遍歴	金谷敏博編 集／松尾政 司	学習研究社	平成14(2002).5.1
155	北方領土探検史の 新研究 その水戸藩との関わり	第一編 水戸藩と北方問題／第 二章 木村謙次の蝦夷地探検— 特に寛政五年の探検を中心に— ／三 『足民論』と彦九郎の来訪	吉澤義一	水戸史学会(発行)／錦正 社(販売)	平成14(2004).7.20
156	生活情報誌 月刊ふ らざ 高崎版10 通巻 No.7	休日はミュージアム 高山彦九郎 記念館 竜馬の先を行っていた人	月刊ふらざ 編集室	ふらざマガジン社	平成14(2004).10.1
157	ワイド版 風雲児た ち 第7巻 SPコミ ックス	(この巻以外に、第4・7・10～16・18・2 0～22巻にも彦九郎が登場する) (このシリーズはNo40 潮出版社版の再 刊)	みなもと太 郎	リイド社	平成14(2002).11.30
158	高山彦九郎記念館講 演会記録 高山彦九郎と細井 平洲	平成14年3月3日に高山彦九郎記念館 で開催された講演会の講演録	太田市教育 委員会文化 財課編集／ 小野重仔	太田市教育委員会	平成15(2003).3.31
159	太田に光をあたえ た先人たち	第二章 近世(江戸時代) 高山 彦九郎	『太田に光 を与えた先 人たち』編 集委員会・ 太田市教育 委員会学校 指導課編集	太田市教育委員会	平成15(2003).3.31
160	高山彦九郎研究会	高山彦九郎と佐原吉之助の感激	高山彦九郎	高山彦九郎研究会	平成15(2003).3.31

	会報 第6号	の対面とその後について(青山良平)／高山彦九郎の肖像画(菅間健司)／頼山陽「高山彦九郎伝」現代語訳(関谷隆)	研究会編集		
161	ぐんま地域文化 第20号	ぐんまの歴史入門講座第42講 高山彦九郎の再評価	正田喜久	(財)群馬県地域文化振興会	平成15(2003).6
162	閑谷学校ゆかりの人々	第五章 訪れた人々 一晩で学校規則を筆写した 高山彦九郎	財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会編集	山陽新聞社	平成15(2003).10.26
163	芭蕉「おくのほそ道」の旅 角川 one テーマ21 C 73	(高山彦九郎の「乙未の春旅」と「北行日記」から引用がされている)	金森敦子	角川書店	平成16(2004).1.10
164	西道仙 明治維新後の長崎を 駆け抜けた快男子	第2章長崎の御用医師の家系 3 勤皇の志士曾祖父西道俊／4久留米遍照院内のひょうたん墓／6 西道俊勤皇行動の波紋	長島俊一	長崎文献社	平成16(2004).2.23
165	高山彦九郎研究会 会報 第7号	高山彦九郎の人間性—日記に見る孝子への褒賞について—(正田喜久)／故塙瑞比古氏の労著『榊陰年譜』と高山彦九郎(菊地卓)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成16(2004).3.31
166	東北学への招待	第3章生と死の風景 1節飢餓の構図 二、青森外が浜の天明飢饉 (京都造形芸術大学通信教育部テキスト『東北学』の市販本)	赤坂憲雄・菊地和博編集／菊池勇夫	角川学芸出版	平成16(2004).5.31
167	群馬文化 第279号	歴史資料の保存と伝承	正田喜久	群馬県地域文化研究協議会(群馬県立文書館内)	平成16(2004).7.31
168	京都百話 角川ソフィア文庫	洛中 三条大橋	奈良本辰也編	角川書店	平成16(2004).9.25

		角川選書(平成6年)の文庫版			
169	長久保赤水書簡集	五 高山彦九郎噺	横山 功	茨城新聞出版局	平成16(2004).12.24
170	静岡大学人文学部 人文論集 第55号 の2	寛政の三奇人と遊歴の時代 http://ir.lib.shizuoka.ac.jp/bitstream/10297/484/1/KJ00004293337.pdf	荒川 紘	静岡大学人文学部	平成17(2005).1.31
171	國文學 2005年2 月号 森鷗外の問題系	縁の線条 —鷗外日記の点と線 *「鷗」の文字は「區」+「鳥」	青田寿美	學燈社	平成17(2005).2.10
172	芋侍奔る	高山彦九郎 —雲仙噴火・野間閑	芳即正	高城書房	平成17(2005).3.25
173	高山彦九郎研究会 会報 第8号	高山彦九郎「江戸日記」を歩く(菅 間健司)／天明大飢饉の事(関谷 隆)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成17(2005).3.31
174	高山彦九郎記念館講 演会記録 水戸藩と高山彦九 郎	平成16年(2004)5月9日に高山彦九郎 記念館で開催された講演会の講演録	太田市教育 委員会文化 財課編集/ 仲田昭一	太田市教育委員会	平成17(2005).5
175	吉田松陰の実学 世界を見据えた大和魂 PHP新書 349	第二部 実学の人、いかに生まれ たか 東北遊歴の旅 寛政の奇 人・高山彦九郎への敬慕	木村幸比古	PHP研究所	平成17(2005).6.1
176	季刊 群馬風土記 平成17年夏季号 (通巻82号) 平成17年秋季号 (通巻83号) 平成18年冬季号 (通巻84号) 平成18年春季号 (通巻85号) 平成18年夏季号	高山彦九郎「上州の旅」 忍山湯旅の記(上) 忍山湯旅の記(中) 忍山湯旅の記(下) 赤城従行 沢入道能記 北上旅中日記(上) 北上旅中日記(下) 武州旛羅巡廻	解説 斎藤 俊夫	群馬出版センター	平成17(2005).7.15 平成17(2005).10.15 平成18(2006).1.15 平成18(2006).4.15 平成18(2006).7.15 平成19(2007).1.15 平成19(2007).4.15 平成19(2007).10.15

	(通巻86号) 平成18年秋季号 (通巻88号) 平成19年春季号 (通巻89号) 平成19年秋季号 (通巻91号)				
177	大塚薬報 2005 7・8 第607号	むかしばなし6 高山彦九郎と三条大橋	内藤益一	大塚製薬工場「大塚薬報」 編集部	平成17(2005).8.1
178	江戸の旅日記 「徳川啓蒙期」の博物 学者たち 集英社新書 0304F	第三章 天明の大飢饉をめぐって —高山彦九郎と菅江真澄	ヘルベルト・ プルチョウ	集英社	平成17(2005).8.22
179	幕末歴史散歩 京阪神篇 中公新書 1811	第一章 天皇発見 高山彦九郎 伝説	一坂太郎	中央公論新社	平成17(2005).8.25
180	平成17度 黎明館企 画特別展 はるかなり 江戸・ 鹿児島の旅	第三章 鹿児島への旅人たち 第 二節 旅人たちと描かれた鹿児島 (4)高山彦九郎	鹿児島県・ 鹿児島県歴 史資料セン ター黎明館	はるかなり江戸・鹿児島の 旅実行委員会	平成17(2005).10.1
181	群馬歴史散歩 第191号 特集:本庄 市 第192号 特集:軽井 沢町 第193号 特集:湯沢 町 第194号 特集:古河 市 第195号 特集:旧妻 沼町 第196号 特集:佐久 市 第197号 特集:旧足 尾町	高山彦九郎日記による歴史散歩 (一)一「赤城行」 (二)二「忍山湯旅の記」 (三)三「小股行」 (四)四「澤入道能記」 (五)五「子安神社道能記」 (六)六「戊戌季春記事」 (七)七「北上旅中日記」 (八)八「古河のわたり」 (九)九「武州旗羅廻」 十「甲午春旅」 「甲午春旅」(続き) (十一)「小田原行」	正田喜久	群馬歴史散歩の会	平成17(2005).10.15 平成18(2006).1.15 平成18(2006).3.15 平成18(2006).5.15 平成18(2006).7.15 平成18(2006).10.15 平成19(2007).1.15 平成19(2007).3.15 平成19(2007).5.15 平成19(2007).7.15 平成19(2007).10.15 平成20(2008).1.15 平成20(2008).3.15

第198号 特集:上里町	(十二)「乙未の春旅」(一)		平成20(2008).5.15
第199号 特集:松枝岐村	(十三)「乙未の春旅」(二)		平成20(2008).7.15
第200号 特集:200号記念	(十四)「乙未の春旅」(三)		平成20(2008).10.15
第201号 特集:多野郡神流町(旧中里村・万場町)	(十五)「乙未の春旅」(四)		平成21(2009).1.15
	(十六)「乙未の春旅」(五)		平成21(2009).3.15
	(十七)「乙未の春旅」(六)		平成21(2009).5.15
	(十八)「乙未の春旅」(七)		平成21(2009).7.15
	(十九)「乙未の春旅」(八)		平成21(2009).10.15
第203号 特集:伊勢崎市(旧伊勢崎市・佐波郡赤堀町・東村・境町)	(二十)「乙未の春旅」(九)		平成22(2010).1.15
	(二十一)「丁酉春旅」(一)細谷村～八王子宿		平成22(2010).5.15
第204号 特集:沼田市(旧沼田市・利根郡白沢村・利根村)	(二十二)「丁酉春旅」(二)		平成22(2010).7.15
第205号 特集:太田市(旧太田市・新田郡尾島町・新田町・藪塚本町)	(二十三)「丁酉春旅」(三)		平成22(2010).10.15
	(二十四)「丁酉春旅」(四)		平成23(2011).1.15
	(二十五)「丁酉春旅」(五)勝沼～府中(甲府)		平成23(2011).3.15
第206号 特集:桐生市(旧桐生市・勢多郡新里村・黒保根村)	(二十六)「丁酉春旅」(六)		平成23(2011).5.15
第207号 特集:利根郡みなかみ町(旧利根郡水上町・月夜野町・新治村)	(二十七)「丁酉春旅」(七)		平成23(2011).7.15
	(二十八)「丁酉春旅」(八)		平成23(2011).10.15
第208号 特集:藤岡市(旧藤岡市・多野郡鬼石町)	(二十九)「丁酉春旅」(九)		平成24(2012).1.15
	(三十)「丁酉春旅」(十)		平成24(2012).3.15
第209号 特集:高崎市(旧高崎市・旧群馬郡倉淵村・箕郷町・群馬町・榛名町、旧多野郡新町)	(三十一)「丁酉春旅」(十一)		平成24(2012).5.15
	(三十二)「丁酉春旅」(十二)		平成24(2012).7.15
第210号 特集:渋川市(旧渋川市、旧北群馬郡伊香保町・小野上村・子持村、旧勢多郡赤城村・北橘村)	(三十三)「丁酉春旅」(十三)		平成24(2012).10.15
第211号 特集:世界遺産へ	(三十四)「丁酉春旅」(十四)		平成25(2013).1.15
第212号 特集:安中	(三十五)「江戸日記」(一)		平成25(2013).3.15
	(三十六)「江戸日記」(二)		平成25(2013).7.15
	(三十七)「江戸日記」(三)		平成25(2013).10.15
	(三十八)「江戸日記」(四)		平成26(2014).1.15
	(三十九)「江戸日記」(五)		平成26(2014).3.15
	(四十)「江戸日記」(六)		平成26(2014).7.15
	(四十一)「江戸日記」(七)		平成26(2014).10.15
	(四十二)「北行日記」(一)		平成27(2015).1.15
	(四十三)「北行日記」(二)		平成27(2015).3.15
	(四十四)「北行日記」(三)		平成27(2015).5.15
	(四十五)「北行日記」(四)		平成27(2015).7.15
			平成28(2016).1.15
			平成28(2016).3.15

市

第214号 特集:東吾妻町(旧吾妻郡吾妻町・東村)

第215号 特集:みどり市(旧笠懸町・大間々町・勢多郡東村)

第216号 特集:中之条町

第217号 特集:多胡郡建郡1300年

第218号 特集:平成の新指定

第219号 特集:群馬のお城

第220号 特集:平成の新指定—中毛編

第221号

第222号 特集:平成の新指定—北毛編

第223号 特集:群馬の地名

第224号 特集:平成の新指定—東毛編

第225号 特集:前橋市の文化財

第226号 特集:太田市の文化財

第227号 特集:伊勢崎市の文化財

第228号

(第229号は掲載なし)

第230号 特集:遺跡と石

第231号 特集:群馬の地名(3)

第232号 特集:中近世の館林地域

第233号

第234号

第235号

第236号 特集 群馬

(四十六)「北行日記」(五)

(四十七)「北行日記」(六)

(四十八)「北行日記」(七)

(四十九)「北行日記」(八)

(五十)「北行日記」(九)

(五十一)「北行日記」(十)

(五十二)「北行日記」(十一)

(五十三)「北行日記」(十二)

(五十四)「北行日記」(十三)

(五十五)「北行日記」(十四)

(五十六)「北行日記」(十五)

(五十七)「北行日記」(十六)

(五十八)「北行日記」(十七)

(五十九)「北行日記」(十八)

(六十)「北行日記」(十九)

平成28(2016).5.15

平成28(2016).7.15

平成28(2016).10.15

平成29(2017).1.15

平成29(2017).3.15

平成29(2017).5.15

平成29(2017).7.15

平成29(2017).10.15

平成30(2018).1.15

	の地名(4) 第237号 第238号 第239号 第240号 (第241号は掲載なし) 第242号 第243号 第244号 第245号 第246号 第247号 第248号 第249号 第250号 第251号 第252号 (第253号は掲載なし)				
182	江戸人物科学史 「もう一つの文明開化」 を訪ねて 中公新書 1826	第二章 江戸中期(生年1691～ 1738) 前野良沢『解体新書』翻 訳の盟主	金子 務	中央公論新社	平成17(2005).12.20
183	江戸「東北旅日記」 案内	第七景 高山彦九郎『北行日記』 盛岡(岩手県)	伊藤孝博	無明舎出版	平成18(2006).2.20
184	高山彦九郎と琥珀 の邦 北行日記(口語版)		田村栄一郎 編著	くんのこほっば愛好会(久 慈琥珀博物館内)	平成18(2006).2
185	江戸「東北旅日記」 案内	第7景 高山彦九郎『北行日記』	伊藤孝博	無明舎出版	平成18(2006).2.2
186	高山彦九郎研究会 会報 第9号	高山彦九郎の交友ネットワーク— 江戸の友人たち—(菅間健司)／ 高山彦九郎記念館学習会・日帰り の旅に参加して—「赤城従行」・ 「北上旅中日記」に見る高山彦九 郎の足跡を訪ねる—(宮田毅)／	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成18(2006).3.31

		彦九郎を取り巻く人たち—祖母りん—(青山良平)			
187	旅と交遊の江戸思想	第二章 十八世紀後半における旅と情報ネットワーク —橋南谿・亀井南冥・高山彦九郎の交流をめぐって— 五、高山彦九郎の西遊／第七章 幕末青年武士の旅意識 二、新しい旅意識の芽生え—橋南谿と高山彦九郎	八木清治	花林書房	平成18(2006).5.20
188	月刊ガバンス 2007年3月号 No.71 2007年4月号 No.72 2007年5月号 No.73	童門冬二の日本列島・諸国賢人列伝 地域と歴史に人あり 第71回 駿河の八助(上) 高山彦九郎を感動させた義僕 駿河の八助 72回 駿河の八助(中) 主家の乱れた経営 73回 駿河の八助(下) 八助の忠誠ぶりに、将軍も褒賞	童門冬二	ぎょうせい	平成19(2007).3.1 平成19(2007).4.1 平成19(2007).5.1
189	高山彦九郎研究会 会報 第10号 創立10周年記念号	高山彦九郎と交遊した人々(菅間健司)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成19(2007).6.1
190	明治維新の先導者 高山彦九郎 みやま文庫188		正田喜久	みやま文庫(群馬県立図書館内)	平成19(2007).11.1
191	物語 京都の歴史 花の都の二千年 中公新書1928	第五章近世の京都 三、江戸時代の京都 さまざまな文化人	脇田修・脇田晴子	中央公論新社	平成20(2008).1.25
192	高山彦九郎研究会 会報 第11号	中島知久平と高山彦九郎(正田喜久)／新たに発見された高山彦九郎真筆日記「利根路の秋旅」解題(宮内正之)／高山彦九郎自筆旅	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成20(2008)6.1

		日記「利根路の秋旅」との出会いについて(茂木博光)			
193	こんなに変わった!「日本史」偉人たちの評判	第2章忘れられた?かつての偉人たち/高山彦九郎	河合敦	講談社	平成20(2008).8.29
194	高山彦九郎研究会ニュース 第5号	「利根路の秋旅」解説余話(宮内正之)/「利根路の秋旅」に想う(朝倉節子)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成20(2008).10.1
195	心を研ぐ フロニーモスたち イノベーションを導く人	第Ⅲ部フロニーモス教育 第11章日本でのフロニーモス教育の発展 江戸に生まれたインビジブル・カレッジ	武田修三郎	宣伝会議	平成21(2009).1.1
196	上州風 30号 特集 今彦九郎	「今」彦九郎 郷土の誉れ、新田義貞 祖母を敬慕。兄との確執/彦九郎の学問形成/上洛した彦九郎/旅の思想家/彦九郎、東北を歩く—宿泊事情(金森敦子)/奇蹟の緑毛亀/歴史の波に翻弄されたヒーロー/高山彦九郎の思想と江戸中・後期の学者たち(関口荘右)/“遊歴の奇人たち”のふるさと/親なし子なしの六無斎—林子平、日本海防論の先駆け /「前方後円墳」の名付け親—蒲生君平 赤貧ながら天皇陵の实地調査/今に生きる彦九郎/Mr.Stan Anderson 『赤城行』を歩く	富澤隆夫・後藤 信・加藤 淳・荒木 菜子編集	上毛新聞社	平成21(2009).3.31
197	高山彦九郎研究会会報 第12号	高山彦九郎の遺書・遺品(正田喜久)/高山彦九郎と交遊した人々(改訂版)(菅間健司)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成21(2009).6.1

198	吉村昭歴史小説集 成 第3巻 彦九郎山河 長英 逃亡		吉村昭	岩波書店	平成21(2009).6.9
199	これでおしまい 歴史に名を残す人 物たちの辞世、最 期の言葉	第2章風雲急を告げる時代 幕末 維新に身を投じた人びとの最期の 言葉 高山彦九郎	加来構三	グラフ社	平成21(2009).7.5
200	どぐら綺譚魔人伝 説 増補・新版 —高山彦九郎から 夢野久作に繋ぐ幻 松本健一伝説シリーズ 8	1どぐら綺譚—高山彦九郎から夢 野久作に繋ぐ幻(第1章彦九郎自 刃の地・草莽と魔人とほか)／3 「どぐら綺譚」への旅—『日本精神 史への旅』より(高山彦九郎と九 州・彦九郎と日田 ほか) (本書は平成5(1993).2.10発行の『どぐ ら綺譚』の増補・新版)	松本健一	発行:辺境社・発売:勁草 書房	平成21(2009).9.29
201	日本史有名人の子 孫たち	江戸 高山彦九郎 遊説先で自刃 した父親の墓を詣でた一人息子	新人物往来 社編	新人物往来社	平成22(2010).1.9
202	高幕末魂！ 幕末人物エッセイコミッ ク	土下座前で会いましょう ～高山 彦九郎～	睦月ムンク	新書館	平成22(2010).1.10
203	みずほ 文化財だ より 第9号	郷土歴史講演会「江戸中期の尊王 家、高山彦九郎について」—その 二本木、富士山、箱根ヶ崎の通行 記録を中心に— 平成22年1月17日(日)に実施された講 演会記録	神山義三 (瑞穂町文 化財保護審 議会編集)	東京都瑞穂町教育委員会	平成22(2010).3.31
204	大分県先哲叢書 前野良沢 資料集 第三巻	書簡 前野良庵宛高山彦九郎書 簡／高山彦九郎宛前野良庵書簡 ／高山彦九郎宛前野良庵書簡／ 高山彦九郎宛前野達書簡／前野	大分県立先 哲史料館編 集	大分県教育委員会	平成22(2010).3.31

		良沢・良庵宛高山彦九郎書簡／ 蓮沼郡治宛高山彦九郎書簡 関連史料 高山彦九郎日記(抄)			
205	高山彦九郎研究会 会報 第13号	股野玉川と高山彦九郎「播州龍野 藩儒家日記」〈幽蘭堂年譜〉から(菅間 健司)／高山彦九郎日記と登山 (宮内正之)／高山彦九郎逍遥 (関谷隆)／高山彦九郎の肖像企 画展より(研究会事務局)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成22(2010).6.1
206	高山彦九郎研究会 ニュース 第7号	山陽道を旅して(正田喜久)／長 久保赤水の生地を訪ねる(菅間健 司)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成22(2010).10.1
207	高山彦九郎研究会 会報 第14号	「忍山湯旅の記」に見える足利の 史蹟—足利学校の移転先—(菊 地卓)／日本地理學の先駆長久 保赤水—住井すゑの高山彦九郎 観—(関谷隆)／彦九郎の江戸の 宿—高山彦九郎のはどこに泊ま ったか—(菅間健司)／彦九郎の 歩いた安永年中の太田近郊(宮 内正之)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成23(2011).6.1
208	人が道をつなぐ— 北国街道の400年 — 長野市立博物館第54 回特別展展示図録	IV 北国街道を旅した人々 1 高 山彦九郎の旅～人々を訪ねる～	長野市立博 物館	長野市立博物館	平成23(2011).9.16
209	高山彦九郎研究会 ニュース 第8号	石川滄浪は生きていた？(菅間健 司)／赤城三夜沢に残る彦九郎 の足跡(小林良男)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成23(2011).10.1
210	如 日本人の美しい心	高山彦九郎 美談探しの旅	堂門冬二	里文社	平成24(2012).4.22
211	高山彦九郎研究会 会報 第15号	いわゆる「彦九郎書」といわゆる 「彦九郎絶筆」(菅間健司)／高山	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成24(2012).5.1

		彦九郎日記「小俣行」から(菊地卓)／京都三条大橋の高山彦九郎像について(関谷隆)			
212	続・みちのく平泉を歩いた文化人たち	高山彦九郎	岩渕国男	木の森	平成24(2012).7.1
213	機関誌『敬天愛人』第30号	特別展「維新の先駆者 高山彦九郎 薩摩下りの謎」 自刃220年新発見「絶筆」が告げる真相	高柳 毅	公益財団法人西郷南洲顕彰会 (西郷南洲顕彰館)	平成24(2012).9.24
214	高山彦九郎研究会ニュース 第9号	該当記事なし	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成25(2013).3.1
215	高山彦九郎研究会会報 第16号	阿部邦男氏の研究書『蒲生君平の「山稜志」撰述の意義』を読んで(正田喜久)／高山彦九郎の蝦夷地への想い―北行日記からみた蝦夷地―高山彦九郎記念館企画展開催にあたって(矢口達郎)／江戸時代の旅事情(一)(佐々木篤)／私の彦九郎研究事始(千葉修)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成25(2013).6.1
216	高山彦九郎研究会ニュース 第10号	太田市と久留米市の彦九郎墓前祭(正田喜久)／高山彦九郎と江戸時代の児童教育(佐々木篤)／教科書に掲載された高山彦九郎(関谷隆)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成25(2013).9.1
217	200年祭記念 蒲生君平	九、寛政の三奇人…時局を憂え、時に慷慨した憂国の士たち 高山彦九郎…尊皇の士を郷里・群馬で顕彰	蒲生君平没後二百年祭記念実行委員会編集	蒲生君平没後二百年祭記念実行委員会	平成25(2013).11.10
218	高山彦九郎研究会会報 第17号	高山彦九郎の遺髪について(正田喜久)／頼春水『春水日記』に現れる高山彦九郎(菅間健司)／江戸時代の旅事情(二)(佐々木篤)／高山彦九郎と足利の善徳寺	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成26(2014).5.15

		—安永七年(一七七八)四月— (菊地 卓)			
219	高山彦九郎研究会 ニュース 第11号	高山彦九郎の身長について(正田喜久)／新資料二点の発見(正田喜久)／高山彦九郎旅日記に見る金銭と物価(佐々木 篤)／高山彦九郎終焉の地と和歌の存在(関谷 隆)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成26(2014).9.1
220	續長久保赤水書簡集 現代語訳	高山彦九郎から赤水へ	高萩郷土史研究会編	長久保赤水顕彰会	平成26(2014).11.6
221	風雲児たちガイドブック 解体新書	風雲児たち人物事典 8 高山彦九郎	おかべたかし	リイド社	平成27(2015).2.13
222	シリーズ日本の旅人 孝子を訪ねる旅 江戸期社会を支えた人々	『高山彦九郎日記』を軸に、著者新発見資料から、江戸期社会を支えた庶民の道徳・思想を描く	勝又 基	三弥井書店	平成27(2015).3.27
223	大分県先哲叢書 前野良沢【普及版】 —オランダ人のばけものと呼ばれた男—	第5章ロシア研究の時代と良沢 3高山彦九郎と築次正と良沢	鳥井裕美子 文 廣瀬 剛 絵	大分県教育委員会	平成27(2015).3.30
224	前野良沢 生涯一日のごとく	第5章ロシア研究の時代と良沢 3良沢のロシア研究—「東砂葛記」「東察加志」—／4寛政初年の良沢 高山彦九郎と築次正／「寛政江戸日記」	鳥井裕美子	思文閣出版	平成27(2015).4.25
225	高山彦九郎研究会 会報 第18号	無念 高山神社が全焼する(正田喜久)／高山神社焼失について思うこと(千葉修)／彦九郎・桜老・松蔭—三先生の思想の系譜—(菊地 卓)	高山彦九郎研究会編集	高山彦九郎研究会	平成27(2015).5.20
226	水戸史学選書 吉田松陰と水戸	第一部 他藩士と水戸(水戸にやってきた高山彦九郎が果たした影	仲田 昭一	(株)錦正社	平成27(2015).7.20

		響他) 第二部 水戸藩至難の運命とそ の超克			
227	高山彦九郎研究会 ニュース 第12号	先人教育の重要さと珍しい彦九郎 の肖像画(正田喜久)／高山家の 家紋(正田喜久)／高山彦九郎記 念館講演会『江戸時代の天皇と公 家』(講師 西村慎太郎)／高山彦 九郎旅日記に見る旅の携帯品 (佐々木篤)／齊藤多須久翁の碑 に付いて(関谷隆)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成27(2015).9.1
228	高山彦九郎研究会 会報 第19号	高山彦九郎の顕彰碑について(正 田喜久)／「那須国造碑」の思い 出(菊地 卓)／高山彦九郎逍遥 II(関谷隆)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成28(2016).6.1
229	高山彦九郎研究会 会報 第20号 今号から会報は年2回 発行となる(研究会ニュー ースは廃止)	古代の古碑と高山彦九郎(正田喜 久)／「正之歌集ト夢余吟稿」を著 した村上俊平(関谷隆)／二つの 墓石(小坂節子)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成28(2016).9.1
230	新刀、新々刀の歴史的 背景 江戸の日本刀	18章 江戸の啓蒙主義・サロン文 化—刀剣ジャーナリズムを生んだ 背景—(1)徳川啓蒙期の旅日記 高山彦九郎／(2)水心子正秀と 高山彦九郎との交流	伊藤三平	東洋書院	平成28(2016).12.25
231	高山彦九郎研究会 会報 第21号	「叔父萬郷君」とは誰か 推察され る三人とその理由(小坂節子)／ 弘前市の法立寺を訪ねて(千葉 修)	高山彦九郎 研究会編集	高山彦九郎研究会	平成29(2017).6.1
232	風雲児たち ～蘭学革命(れぼ りゅうし)篇～		みなもと太 郎	リイド社	平成29(2017).12.17

233	蘭学事始ぴあ 時代を駆けた風雲児たち ぴあ MOOK	第1章「ターヘルアナム」ってなんだ？ 奇人たちとの邂逅 時代を駆け抜けた3人の風雲児たちとの交流	北坂和浩ほか編	ぴあ	平成30(2018).1.20
-----	----------------------------------	--	---------	----	-----------------

* 注 『高山彦九郎研究会報』(『高山彦九郎研究会ニュース』)については、挨拶文等・研究会事業報告・短文の記載は省略。